

萩原高行様

主の御名を賛美いたします

今回内容証明付きのお手紙をいただき読ませていただきました。

今までいただいたメール等のご意見に変わりはなく、それについて今回は役員以外の方3名を加えて調査をしてほしいということだと理解しました

しかしコロナ禍の中新しく人を募り新たに話をするのは難しいことと思われ

そこで、新しく役員になられた3名の方は昨年6月の時点では役員外でしたので、お手紙をご覧いただき、参加をお願いして話し合いをいたしました。

その結果萩原さんのお問い合わせの件に関しては、すでに2020年役員会としての考えをお伝えしている通りで3人の方からも異論はありませんでした

付け加えますが、以前お送りした手紙ですが、あれは絶縁状ではありません 直前に頂いたメールへの役員会からの返信です。このことに対する意見の違い、解釈の違いはただで、そう受け取られたことに驚きました

萩原さんは熱心な信者で、教会のことにも詳しくいろいろなことに精通しておられるお仲間だと認識しています

総会決議に違反しているという受け止め方に、理解の差があることは認めるものの、役員会としてはあくまでも、インターネットの環境にない方の立場にたつての判断を良しとすることと、結論しました。

それは会堂を閉めるとしたとしても、インターネットを使わない方が会堂に来られた場合喜んで受け入れるのは当然という考えです。

教会員に礼拝中止の通知もしましたが、再開の知らせも出してあったため、牧師とオルガニストと教会学校長が待機する形で、来訪者が来た時に備えたこと、そして連絡が行き届かず来た方を会堂に入れたことが決議に反するというのはどうでしょうか

人の子イエスは律法に先立つとあるように、また、安息日であっても奇跡を起こすことを躊躇われない聖書の箇所を見れば律法に捉われすぎず柔軟に対応することも可であろうと思うのです。

もう一点、孤立状態に追い込まれたとお感じのようですが、メールでのやり取りは役員数名がさせていただけましたし、牧師とも話し合いを重ねたと聞いております。

礼拝出席は基本的にリモートですので孤独感や寂しさを感じている会員も多いと思います。

お申し出があった役員を降りたい、現住陪餐会員から抜きたい等に関しても、ご希望に沿うよう対応いたしました。

しかし、その後の現住陪餐会員への復帰の件は、「もう少しお待ちください」ということで、意に沿わないことであつたかもしれませんが、それは役員会が真剣に考えた上のことです 最初のお申し出の時に驚きながらも、それほど思っていらっしゃるなら仕方ないと受け入れを決めたことで、にわかに覆せるような簡単なことではありません。

なお、ブログに氏名入りでこの件について掲示することはおやめいただきたいと思います。以前もそういうことがあり役員は不安な思いであります。

今はリモート出席ですので、なかなか交流の時を持てませんが再び会堂でお目にかかり、ともに祈るときがくることを待ちたいと思います。

今こそより真剣に御言葉に耳を傾けることを求められている時なのではないでしょうか。すべてに時があるのですから。共に平穏な時を持てるように心を込めてお祈りいたします

2021年9月

砧教会役員一同